

Strix 10 : 291-292 (1991)

## 巣箱を繁殖に利用したコガラ

鈴木祥悟<sup>1</sup>・由井正敏<sup>1</sup>・青山一郎<sup>2</sup>

コガラ *Parus montanus* は通常枯れ木にみずから巣穴を掘って繁殖するため、人為的に供与した巣箱などの利用例は少なく、これまで数例が知られているにすぎない(山階 1980, 由井ほか 1985), このうち由井の例は, キツツキの営巣用として, 試験的に丸太をアカゲラの巣穴を模してくり抜き, 内部にオガクズを詰めたものを架設した結果, コガラがオガクズを排出して利用したものである。

今回は, 森林総合研究所東北支所で巣箱などを架設し, その利用状況を調査している姫神鳥獣試験地で, コガラが2年続けてシジュウカラ類用の巣箱を利用して繁殖したので, その概要を報告する。

報告にあたり, 試験地の使用にさいしお世話になっている, 青森営林局盛岡営林署の関係者各位に感謝申し上げる。

コガラが巣箱で繁殖した姫神鳥獣試験地は, 岩手県盛岡市の北東約20kmに位置し, 標高750m, 植栽後30年程度経過した樹高15mほどのカラマツ壮齡人工林である。ここの25haの区域を対象として, 1987年秋期にシジュウカラ類用巣箱(入口径3cmの片屋根型)を40個架設し, 翌1988~1990年の間, 4月中旬~8月上旬にかけて, 1週間程度の間隔で継続的に利用状況を調査している。当試験地のくわしい林の状況, 巣箱の架設状況や1988年の巣箱の利用状況については, 別に報告している(鈴木ほか 1988)。Table 1に, コガラの巣箱での繁殖状況を示す。当試験地では巣箱の調査と同時に, 繁殖期になわばり記図法センサスを行ない生息つがい数を明らかにしているが, 1988年と1989年には, 当試験地の巣箱架設区域に2つがいのコガラがなわばりを持ち, 2つがいとも巣箱を利用して繁殖した。個体識別していないので同一の個体やつがいが利用したものかどうかは明らかではないが, ある巣箱は2年続けて利用され, また, 別の2個の巣箱は互いに100mしか離れていなかった。

当試験地のように針葉樹の一斉林で, 巣穴を掘る枯れ木が少ない林では, コガラも巣箱も利用して繁殖するものと思われる。ただし, 1990年の繁殖期には, 当試験地内にコガラが生息していたものの, 巣箱では繁殖しなかった。この原因としては, 巣箱を好んで利用するヒガラやシジュウカラといった

Table 1. Breeding records of Willow Tits using nest boxes.

Year	Date of first egg laying	Clutch size	No. of young hatched	No. of fledgling
1988	May 13	9	8	8
1988	May 18 or 19	7	6	6
1989	May 8	7	6	6
1989	May 7	11	9	9

1991年3月10日受理

1. 森林総合研究所東北支所. 〒020-01 岩手県盛岡市下厨川字鍋屋敷 72

2. 青森営林局野辺地営林署清水目担当区. 〒039-31 青森県野辺地町字下小中野 25-2

ほかの洞巢性鳥類との競争や、コガラが巣箱を利用する場合には比較的新しいものを好む可能性があることなどが考えられるが、これらについては今後の調査で明らかにしていきたい。

なお、この試験地のシジュウカラ類用巣箱は、コガラのほか、シジュウカラとヒガラに利用されている。

#### 引用文献

鈴木祥悟・由井正敏・青山一郎. 1988. 姫神鳥獣試験地の繁殖期の鳥類群集. 日林東北支誌 40: 223-225.

山階芳麿. 1980. 日本の鳥類と其生態 第1巻. 出版科学総合研究所, 東京.

由井正敏・鈴木祥悟・青山一郎. 1985. キツツキ営巣用丸太の利用例. 日林東北支誌 37: 202-204.

#### Breeding records of the Willow Tit in nest boxes

Yoshinori Suzuki<sup>1</sup>, Masatoshi Yui<sup>1</sup> and Ichiro Aoyama<sup>2</sup>

Two pairs of Willow Tits *Parus montanus* bred in nest boxes for tits in the Himekami experimental forest of Iwate Prefecture. It is likely that the species may often use nest boxes in afforested areas instead of nesting in dead trees.

1. Tohoku Research Center, Forestry and Forest Products Research Institute. Nabeyashiki 72, Shimokuriyagawa, Morioka-shi, Iwate 020-01
2. Shimizume Ranger Station, Noheji District Forestry Office, Aomori Regional Forestry Office. Shimokonakano 25-2, Noheji-machi, Aomori 039-31